

北海道ブロックの社会資本の重点整備方針に対する意見について

平成21年6月11日から7月10日までの間、インターネットによりパブリックコメントを行い、22名から32件の意見をいただきました。その重点戦略別内訳は、以下のとおりです。

・重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	7件
・重点戦略2 「地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成」	1件
・重点戦略3 「魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり」	2件
・重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	17件
・重点戦略5 「安全・安心な国土づくり」	1件
・その他	4件

重点戦略	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	1	北海道が食料基地としての使命を果たすには、食料生産地域とその移出拠点となる空港や港湾を高規格幹線道路でネットワーク化することが必要なことを明記すべき。	食料供給基地としてのネットワーク強化については、重点方針(素案)8ページ、重点目標①において、「高規格幹線道路、地域高規格道路、多目的国際ターミナル、小型船だまりや空港等の一体的な整備により物流コストを縮減し、食料の安定供給等を推進する」としているところ。
重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	2	我が国の食料供給基地としての北海道の役割を強化する事は日本全体の利益であり、将来世界的な食糧不足の懸念の観点からも必須事項である。その為には北海道の流通網の整備は急務であり集中的に実施するべきだと思います。	食料供給基地としての流通網の整備については、重点方針(素案)8ページ、重点目標①において、「高規格幹線道路、地域高規格道路、多目的国際ターミナル、小型船だまりや空港等の一体的な整備により物流コストを縮減し、食料の安定供給等を推進する」としているところ。
重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	3	後志地域は農水産物を始めとする食料の供給が一年間を通して可能であり、我々国民の食料基地として大変重要な地域であります。幹線交通ネットワークの構築は、最も重要な課題であると考えます。	食料供給基地としての幹線交通ネットワークの構築については、重点方針(素案)8ページ、重点目標①において、「高規格幹線道路、地域高規格道路、多目的国際ターミナル、小型船だまりや空港等の一体的な整備により物流コストを縮減し、食料の安定供給等を推進する」としています。
重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	4	シーニックバイウェイ活動について、宗谷の場合、利礼への航路もシーニックバイウェイのルートとして認定を受けているので、港湾もシーニックバイウェイ活動に参画してほしい。また、利尻・礼文などは国道がなく道道である。国と北海道の連携を強く望みます。	シーニックバイウェイ活動の連携については、重点方針(素案)8ページ、重点目標②において、「多様な主体が行政と連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う「シーニックバイウェイ北海道」など地域が主体となった取組を促進する」としているところ。
重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	5	広大な面積を誇るオホーツクゾーンのグリーンベルト国有風防林は、森林を利用した心身の癒し健康づくり、既存事業であるシーニックバイウェイとの連携など、未利用資源として国際観光競争力への投資として有望なものとする。トータルなテーマとして世界自然遺産に指定された知床半島自体に目を向けながら、その導入地帯の活性化を目指すべきと考える。	地域の自然環境等を活用した観光振興については、重点方針(素案)8ページ、重点戦略1において、「アジアの中でも特徴的で豊かな自然環境などを活用し、アジア諸国を始め広く内外の多様なニーズに対応した、国際的な競争にも打ち勝つことができる観光地づくりを戦略的に推進する」とし、重点目標②において、「多様な主体が行政と連携し、美しい景観づくり、活力ある地域づくり、魅力ある観光空間づくりを行う「シーニックバイウェイ北海道」など地域が主体となった取組を促進する」としているところ。

重点戦略	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	6	滞在型観光振興に資する事業計画等の作成にあたっては、各地方自治体だけでなく、民間そして地域には総合経済団体である商工会等や各団体と強気に連携し計画作りなど整備していくべきと考えます。	滞在型観光の促進については、重点方針(素案)8ページ、重点目標②において、「内外観光客の宿泊旅行回数や滞在日数の拡大を目指し、2泊3日以上滞在型観光を促進する観光圏を形成するため、地域の幅広い関係者が連携した観光圏の整備を促進する」としているところです。
重点戦略1 「グローバルな競争力ある自立ある安定経済の実現」	7	光ファイバ網等の情報通信基盤は官だけの利用だけでなく民にも一部開放し、利便性を追及することにより短・長期滞在や移住など地域活性化施策の一戦略として活用していく必要があると考えます。	情報通信技術の活用については、重点方針(素案)8ページ、重点目標②において、「情報通信技術を活用した観光情報の提供や案内表示の多言語化、移動の円滑化など来訪者をあたたかく迎えるための社会基盤整備を推進する」としています。
重点戦略2 「地球環境時代を先導し自然と共生する持続可能な地域社会の形成」	8	石狩湾新港西地区の多目的国際ターミナル整備事業は「低炭素社会の形成」に該当しないのではないか。	石狩湾新港西地区の多目的国際ターミナル整備事業については、当事業を実施することにより、原材料の陸上輸送距離が短縮され、環境負荷がより低い物流体系が構築されるものであることから、「低炭素社会の形成」として記述しているところです。
重点戦略3 「魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり」	9	我が国は世界一と言われる長寿国となり、予想以上の勢いで高齢化が進んでおり、福祉・医療費の社会的負担が増大しております。生産人口が減少する中で、高齢者が積極的に社会参加できる場を創り、自らの能力、経験に応じて働くことで、健康で新たな生き甲斐と誇りを持つ「良い循環型」の社会の器づくりと、高齢者の新人類づくりなどを考えてみてはどうでしょうか。	人口減少・高齢化が進展する中でのまちづくりについては、重点方針(素案)10ページ、重点戦略3において、「人口減少等により都市機能の維持が困難となることが予想される都市部においては、中心市街地の活性化や、都市経営コストを抑制したコンパクトなまちづくりなど、都市の魅力を高める都市再生を進めるとともに、人口低密度地域においては、地域経済の活性化等に取り組むことが重要であり、モビリティや情報通信環境の向上、各地域の特性や取組を踏まえた施策を実施する」としているところです。
重点戦略3 「魅力と活力ある北国の地域づくり・まちづくり」	10	電線類の地中化を中心市街地だけではなく、住宅地にも進めるとともに、景観に配慮した北海道らしい住宅地を創造すべき時期に来ているのではないかと思います。	景観に配慮したまちなみ景観の形成については、重点方針(素案)11ページ、重点目標②において「美しいまちなみ景観の形成などにより観光資源の発掘を促進する」としているところです。

重点戦略	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	1 1	地理的条件の悪く医療過疎と言われる町村においては、高度医療施設である総合病院へ重篤な患者を救急搬送するため、人員・車両などの救急体制の整備を図っています。道民(地域住民)を守る「救急医療・救急搬送」のための一般道路整備の視点が重要と考えております。	地域医療を支える交通ネットワークについては、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	1 2	高速道路は冬道も除雪等が行き届いており、安心して移動することができます。高速道路の早期完成、名寄市までの全線完成を強く要望します。センター病院までの距離を「安心安全な道路環境」にしなければならぬと思います。	地域医療を支える交通ネットワークについては、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」とし、重点目標①において、「主要都市間を連絡する規格の高い道路の整備を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	1 3	国土開発幹線自動車道建設法として整備計画区間(9,342km)が決定しているにもかかわらず、北海道の高規格幹線網は50%未満に過ぎません。北海道は広域分散型社会となっているため、中核都市間距離が長く時間がかかります。地域医療を支える観点から、一日も早いネットワークの構築を望む。	地域医療を支える交通ネットワークについては、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」とし、重点目標①において、「主要都市間を連絡する規格の高い道路の整備を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	1 4	医療や教育には道路整備が必要です。国土交通省の社会資本の整備として自動車専用道としての高規格道路の早期完結を望みます。交通の利便性を生かした「地方づくり」が可能であると考えています。地域の活力が人を動かす。この為にも是非国土を創造してもらいたい。	地域医療等を支える交通ネットワークについては、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」とし、重点目標①において、「主要都市間を連絡する規格の高い道路の整備を推進する」としているところです。

重点戦略	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	15	この地域では高度医療に関して北見市に強く依存しており、もしウトロ地域で重病になれば北見までおよそ2時間半もかかってしまいます。さらに道路は、急カーブ、急勾配の箇所が多くまた幅員も狭く交通事故が多発している箇所もあります。生活道路として安心して安全な道路の確保が必要だと思えます。	地域医療を支える交通ネットワークについては、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備や多様化する地域や交通利用者のニーズに対応した地域の実情に即した交通基盤整備を進める」としています。また、重点目標②において、「身近な道路整備や生活幹線道路など地域の実情に即した基盤整備を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	16	農産品等物流コスト縮減・低炭素化への寄与・医療防災等安全安心な地域社会形成、更には恵まれた自然資源を活かした国内外に向けた戦略的観光展開等北海道の課題解消など、産業振興のための先行投資として「交通ネットワークの構築」は、北海道にとって最も優先度の高い事業であることから、重点整備方針に盛り込まれますことを熱望いたします。	産業や地域医療等を支える交通ネットワークの整備については、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	17	倶知安・ニセコ地区には国内外から多数の観光客が訪れ地域の一大産業として発展しています。加えて大変豊富な水産物・水産加工物等、北海道におけるこの地域の重要性は計り知れないものがあります。交通ネットワークの構築は、最も重要な課題であると考えます。	観光や産業を支える交通ネットワークの整備については、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」としています。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	18	網走管内における観光については入込数は多いが、地域の大部分が通過型観光となっているため必ずしも地元恩恵があるとは限りません。そのため、今後網走管内全域における道路整備や拠点整備事業計画を行っていただきたい。	観光を支える交通ネットワークについては、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	19	観光振興の観点から道央道、道東道の整備の促進を図るのは当然の事として、地域高規格道路の整備を早急に進め、地域間の高速ネットワーク化を目指してほしい。	観光を支える交通ネットワークについては、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」とし、重点目標①において、「主要都市間を連絡する規格の高い道路の整備を促進する」としているところです。

重点戦略	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	20	世界自然遺産知床など道内の観光地へのアクセス道路整備を重点的に実施すべきである。	観光を支える交通ネットワークの整備については、重点方針(素案)12ページ、重点戦略4において、「地域医療や産業、観光、生活活動等を支えるための高規格幹線道路など広域的な生活を支える交通ネットワークの整備を進める」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	21	光ファイバ網等の情報通信体系の整備推進について、人口規模やコストで考えるのではなく、地域活性化施策の一戦略として考慮し、網走管内全域(末端まで)の整備について、官・民等の連携を行い強力に整備していく必要があると考えます。	光ファイバ網等の情報通信基盤の整備については、重点方針(素案)13ページ、重点目標②において、「道路管理用の光ファイバ網等の情報通信基盤の整備を推進するとともに、情報通信技術を活用した公共サービスの高度化・効率化等を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	22	重点戦略を連携し、効率的に重点戦略を推進するための具体的な方策のひとつとして、ICTの利活用が考えられます。地方整備局を中心に、地方自治体、民間企業やNPO等が、ネットワークを通じて、情報を共有し活用することにより、例えば、交通機関に関する情報を観光に、観光関連情報をまちづくりに、まちづくり関連情報を防災に、防災情報をモビリティ向上にそれぞれ活用できます。以上のことから北海道ブロックにおける将来像と地域戦略の実現に向け、重点戦略を支える社会資本として情報共有基盤の整備が必要であると考えます。	情報通信基盤の整備については、重点方針(素案)13ページ、重点目標②において、「道路管理用の光ファイバ網等の情報通信基盤の整備を推進するとともに、情報通信技術を活用した公共サービスの高度化・効率化等を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	23	冬期の観光客の誘客に関して、稚内空港に降りられなくダイバードした場合、旭川から陸路となるが、所要時間の長さや冬期の道路対策が課題である。地域経済発展のため、冬期の道路交通の安全確保を望みます。	冬期交通の安全性向上については、重点方針(素案)13ページ、重点目標③において、「安全で信頼性の高い道路交通を確保するため、効率的な除排雪の実施、雪崩防止施設や防雪林等の整備、堆雪幅の確保、凍結路面対策等を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	24	冬場の安全な交通の確保を目指してほしい。	冬期交通の安全性向上については、重点方針(素案)13ページ、重点目標③において、「安全で信頼性の高い道路交通を確保するため、効率的な除排雪の実施、雪崩防止施設や防雪林等の整備、堆雪幅の確保、凍結路面対策等を推進する」としているところです。

重点戦略	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	25	魅力ある観光地づくりには、冬期交通の信頼性向上などの安全対策が重要である。	冬期交通の安全性については、重点方針(素案)13ページ、重点目標③において、「安全で信頼性の高い道路交通を確保するため、効率的な除排雪の実施、雪崩防止施設や防雪林等の整備、堆雪幅の確保、凍結路面对策等を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	26	ウトロから北見までの道路においては、冬期に視程障害の発生している箇所があります。生活道路として安心して安全な道路の確保が必要だと思えます	冬期交通の安全性向上については、重点方針(素案)13ページ、重点目標③において、「安全で信頼性の高い道路交通を確保するため、効率的な除排雪の実施、雪崩防止施設や防雪林等の整備、堆雪幅の確保、凍結路面对策等を推進する」としているところです。
重点戦略4 「内外の交流を支えるネットワークとモビリティの向上」	27	この後志は豪雪地帯でもあり、一年間を通しての安心安全な地域形成のため、また救命救急といった医療の観点から見ても幹線交通ネットワークの構築は、最も重要な課題であると考えます。余市～黒松内間の高規格道路の早期整備が必要であります。	冬期交通の安全性向上については、重点方針(素案)13ページ、重点目標③において、「安全で信頼性の高い道路交通を確保するため、効率的な除排雪の実施、雪崩防止施設や防雪林等の整備、堆雪幅の確保、凍結路面对策等を推進する」としているところです。
重点戦略5 「安全・安心な国土づくり」	28	ハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策を行うためには、避難施設も対象とすべきである。	避難施設については、重点方針(素案)14ページ、重点目標②において、「防災拠点となる公園・緑地、避難路、防災ステーション等の整備や、堤防、遊水地等の整備とまちづくり・地域振興施策とを連携させるなど、災害に強いまちづくりを推進する」としているところです。
その他	29	計画案はこれからの北海道にとって必要なことであると考えます。今後の社会資本整備実現に期待いたします。	いただいたご意見については、その趣旨を踏まえ計画の推進に活かしていきたいと考えています。
その他	30	多くの一般市民に理解を求めていくため、より一層の広報活動が必要だと思えます。	多くの一般市民の方々に理解していただけるよう、広報活動に努めていきたいと考えています。

重点戦略	No.	意見の要旨	意見に対する考え方
その他	3 1	<p>「整備方針」は、北海道の現状と課題が整理され、それに対する資本整備のあり方が明確に示されている内容であると感じたが、一般市民に馴染みない言葉が多い。一般市民に理解されるよう、工夫ある広告をすることが大切である。</p> <p>また、安定した経済成長が望めない状況の中、これら社会資本整備を外からの整備だけに頼ることなく、内なる北海道にあるものを活かすという視点をもって進めて行くものだということをもっと強調していけばいいと感じました。</p>	<p>重点方針(素案)6ページに、北海道の美しく豊かな自然環境などの北海道の資源・特性を活かした3つの「北海道ブロックの目指すべき将来の姿」を目標として掲げています。本重点方針は、ご指摘いただいたとおり、内なる北海道にあるものを活かした「将来の姿」を実現するための施策を示したものです。いただいたご意見については、その趣旨を踏まえ、多くの一般市民の方々に理解していただけるよう、広報活動に努めていきたいと考えています。</p>
その他	3 2	<p>今回の重点整備方針は、5つの重点戦略と15の重点目標を掲げておりますが、いずれも我が北海道に取りましては、的を射た戦略と思います。日本で唯一亜寒帯に所属する北海道の強みを遺憾なく発揮し、そして我が日本の発展に大きく貢献するためにも、「北海道地方の社会資本の重点整備方針」の速やかな実行を強く願うものであります。</p>	<p>いただいたご意見については、その趣旨を踏まえ計画の推進に活かしていきたいと考えています。</p>